

学校名	新学科名	新学科の概要
佐久平 総合技術 高校	食料マネジ メント科 生物サービ スコ 食農クリエ イト科	<p>1 改編理由</p> <p>(1) 本校の農業科は、農業に関する知識・技術を習得させ、農業や関連産業で活躍する人材を育成してきた。</p> <p>しかしながら、農業及び地域社会を取り巻く情勢は、国際化、高度情報化、科学技術及び少子高齢化の進展や産業構造の変化等により、大きな転換点を迎え、農業生産とこれらから派生する多面的・公益的機能を、産業競争力のある農業の樹立や地域産業の発展につなげることができる人材の育成が求められている。</p> <p>このような情勢を踏まえ、総合技術高校としての特色を活かし、創造力・技術力・人間力の育成をとおして、農業のイノベーションや産業構造の変化等に的確に対応できる専門的かつ多面的・汎用的な職業能力を身に付けさせるとともに、持続可能な地域産業を担う創造的・実践的な人材の育成を推進するために学科改編を行う。</p> <p>(2) 今後の佐久平の農業や地域産業の発展を担う人材に求められている能力・資質は、①消費の多様化や流通形態の変化に対応した新たな品目の導入、環境と共生した農業生産、消費者が求める安全安心な農産物の生産や農業の6次産業化など起業的・先導的な農業経営を推進することができる能力、②農業の多面的機能を生かして、地域社会の振興や活性化、健康・福祉等のヒューマンサービスの向上を推進することができる能力、③観光、リゾート地を抱える佐久平の地の利を生かし、観光産業、サービス産業及び食品産業との連携を図り、付加価値の高い商品の開発や農産物の戦略的なマーケティングを推進することができる能力であり、これらの能力・資質を新たな学科の編成によって育成する。</p> <p>2 学科の内容</p> <p>(1) 学科の目標</p> <p>① 食料マネジメント科の目標</p> <p>食料の生産からマーケティング・販売までをマネジメントし、6次産業化に対応できる知識と技術を習得させ、地域資源を活用した起業や地域経済の活性化に貢献できる人材を育成する。</p> <p>② 生物サービス科の目標</p> <p>農業生物を利活用し、福祉・介護等のヒューマンサービスや観光サービス、動植物との共存に対応できる知識と技術を習得させ、社会福祉の向上と地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。</p> <p>③ 食農クリエイイト科の目標</p> <p>戦略的なマーケティングに基づく商品開発や地域資源を利活用した環境共生型・資源循環型農業や高付加価値生産・特産化に対応できる知識と技術を習得させ、健康長寿、食の創造と安全の推進、地域振興に貢献できる人材を育成する。</p> <p>(2) 学科の特徴</p> <p>1年次は、くくり募集により、農業と産業の基礎・基本を共通に履修する。2年次からは、3学科6つのコースに分かれ、各学科・コースの専門科目の履修により、系統的で発展的な学習を展開する。</p>

		<p>① 食料マネジメント科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物生産コース 農業の6次産業化と起業をテーマに、野菜を中心とした農作物の栽培、植物工場、地域植物資源の利活用、食品加工及び流通・マーケティングに関わる学習を行う。 ○ 動物生産コース 畜産業の6次産業化と起業をテーマに、乳牛・養豚・養鶏を主とした産業動物の飼養、地域動物資源の利活用、乳肉加工及び流通・マーケティングに関わる学習を行う。 <p>② 生物サービス科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物活用コース 園芸福祉とヒューマンサービスをテーマに、草花を中心とした農作物の栽培、植物工場、園芸デザイン、フラワーアレンジ等の植物資源の利活用及び社会福祉に関わる学習を行う。 ○ 動物活用コース アニマルセラピーとヒューマンサービスをテーマに、動物の飼養管理、動物愛護、乳牛・山羊・愛玩動物等を利活用した動物介在活動、動物資源の利活用及び社会福祉に関わる学習を行う。 <p>③ 食農クリエイト科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品開発コース 商品開発と地域振興をテーマに、食品の加工・分析、食品の機能と栄養、食と健康、食品衛生、地域伝統食材の利活用、流通・マーケティング及び商品開発に関わる学習を行う。 ○ 環境共生コース 高付加価値生産と地域振興をテーマに、穀物を中心とした農作物の栽培、環境共生・資源循環型農業、地域環境・森林保全、遊休農地の利活用及びグリーンツーリズムに関わる学習を行う。 <p>(3) 特色ある教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域連携 地元企業等でのインターンシップ、地元商店街での高校生チャレンジショップ、地域食材を活かしたブランド食品や機能性食品の開発、信州大学繊維学部（植物工場）・長野大学（環境、福祉）・佐久大学信州短期大学部（福祉）との連携、地元小学校との食育交流等を行う。 ○ 学科間・キャンパス間連携、他学科科目の導入 工業科・実践創造科との連携授業（「産業基礎Ⅰ・Ⅱ」「植物工場」「課題研究」等）、知的財産教育、アクティブラーニングによる創造性教育、商業科目の導入（「マーケティング」「商品開発」）、福祉科目の導入（「社会福祉基礎」）、演習林を活用した環境教育等を行う。 ○ 農業クラブ活動 科学性・社会性・指導性を育成するプロジェクト活動、農業学習を活かした地域貢献活動等を行う。 ○ 資格・検定等 FFJ検定、日本農業技術検定、品質管理検定、機械・建設系技能講習、食品衛生責任者、愛玩動物飼養管理士、食品衛生責任者等の検定や資格取得を目指す。
--	--	---